

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 5 月 25 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25284109

研究課題名(和文) 英語教師のためのポートフォリオの普及と英語で授業を行う能力基準に関する実証的研究

研究課題名(英文) Dissemination of Japanese Portfolio for Student Teachers of Languages and  
Demonstrative Study on Standards for Competencies in Conducting Classes in English

研究代表者

神保 尚武 (Jimbo, Hisatake)

早稲田大学・商学大学院・名誉教授

研究者番号：60063781

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,200,000円

研究成果の概要(和文)：平成26年にヨーロッパ評議会(Council of Europe)とヨーロッパ現代言語センター(ECML)が開発した『ヨーロッパ言語履修生のためのポートフォリオ(EPOSTL)』を日本の英語教師教育への翻案を試みた『言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)』を作成した。J-POSTLは平成26-27年度にかけて、研究協力者の所属大学を中心に、10数大学の英語科教育教育法において経年で使用され、省察ツールとしての教育効果が立証されつつある。J-POSTLの記述文にはCLTを基盤とした教授理論と実践に関する代表的な知見が含まれ、教員が到達すべき授業力が可視化されていることが理解されつつある。

研究成果の概要(英文)：In 2014 we completed the adaptation of the European Portfolio for Student Teachers of Languages (EPOSTL) and published three variants of Japanese Portfolio for Student Teachers of Languages (J-POSTL). There are mainly four reasons for the creation of J-POSTL: to induce paradigm shift in language teaching, to enhance didactic as well as language competencies of teachers, to encourage collaborative learning and teaching, and to highlight the importance of establishing standards for teacher education. The J-POSTL was used in methodology classes at many universities and in workshops and seminars for in-service training for the past few years. The J-POSTL was found to be very effective as a reflection tool to help prepare them for their future and present profession in a variety of teaching contexts.

研究分野：言語学・外国語教育

キーワード：英語教師養成 教師の成長 授業力 英語科教育 英語力 省察 自律的学習者 複言語能力

1. 研究開始当初の背景

本研究会は、『言語教育履修生のための言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)』を2009年度に開発した。2010年度にはJ-POSTLの教育現場への文脈化の試みをした。2011年度には現職英語教員のためのポートフォリオ作成に向けての予備調査を行った。2012年度には現職英語教員の授業力に関する意識調査を行った。

2. 研究の目的

現職英語教員の授業力に関する記述文を特定し、授業力の目安を明らかにし、英語で授業を行う能力基準を明確化することである。

3. 研究の方法

全国の英語教職課程履修者、現職英語教員、大学の英語科教育法担当者、教育委員会等へのアンケート調査や諸外国や国内の先進事例を調査・研究した。

4. 研究成果

2013年度に『報告書』と『言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)』の3分冊、「英語教師教育全編」と「英語教職課程編」と「現職英語教師編」を公刊した。授業能力を履修学生、初任教师、育成教師、中堅教師、熟練教師の5段階に分けたところに特徴がある。

2014年度に大学英語教育学会教育問題研究会のジャーナル『言語教師教育 Vol.1 No.1(日本語版)』と『言語教師教育 Vol.1 No.2(英語版)』を公刊した。J-POSTLの効果的利用を協力大学に依頼した。青山学院大学と明星大学の事例を前記のジャーナルに掲載した。英語の授業力改善のための現職教員用ポートフォリオに関しては英語教育関連の学会や教育委員会の研修等で普及活動を行った。

2015年に『言語教師教育 Vol.2 No.1(日本語版)』、『言語教師教育 Vol.2 No.2(英語版)』と2016年3月に『言語教師教育 Vol.3 No.1(日本語版)』として成果を発表した。J-POSTLが教員個人の自律への成長を促す省察ツールであり、教員が到達すべき授業力が可視化されていることが理解されつつある。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計15件)

1. 久村研「EPOSTLからJ-POSTLへ：日本での適用可能性をめぐって」『言語教師教育、Vol.3 No.1(日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2016、

13-35

2. 清田洋一「英語教師の自律的な省察を支援する授業改善の取り組み」『言語教師教育、Vol.3 No.1(日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2016、36-55
3. 神保尚武「Life-long Learning of Languages」『言語教師教育、Vol.2 No.2(英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2015、1-14
4. 中山夏恵、栗原文子「Can intercultural competence be developed through textbooks? An analysis of English textbooks for Japanese junior high school students」『言語教師教育、Vol.2 No.2(英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2015、37-58
5. 神保尚武「生涯を通してのことばの学習」『言語教師教育、Vol.2 No.1(日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2015、1-13
6. 清田洋一「英語科教科法の授業におけるJ-POSTLの統合的活用法 授業力への内省を深めるために」『言語教師教育、Vol.2 No.1(日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2015、21-40
7. 中山夏恵、栗原文子「中学校検定教科書に見られる異文化間コミュニケーション能力 『言語と文化の復元的アプローチのための参照枠』を用いた分析を通して」『言語教師教育、Vol.2 No.1(日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2015、41-58
8. 山口高領、堀晋也「第2外国語学習における基本的心理欲求の充足と英語学習に対する自己効力感」『言語教師教育、Vol.2 No.1(日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2015、93-101
9. 山口高領、堀晋也「第2外国語を学ぶ大学生の自律学習能力と英語学習に対する自己効力感」『言語教師教育、Vol.2 No.1(日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2015、102-110
10. 久村研「言語教師のポートフォリオ：完成から普及へ」『言語教師教育、Vol.1 No.1(日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2014、5-22
11. 酒井志延、相澤一美、安達理恵「小学校外国語活動指導者意識調査結果」『言語教師教育、Vol.1 No.1(日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2014、31-45
12. 久村研「J-POSTL: Specification of Descriptors and Strategies for Implementation」『言語教師教育、Vol.1 No.2(英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2014、5-25
13. 酒井志延「Towards Implementing the Principles of the Common European

Framework for Languages within the Japanese Educational System」*The CEFR in An East Asian Context* (台湾国立大学) 査読有、2014、73-98

14. 清田洋一「授業で英語を多く使うために行動志向的アプローチのすすめ[10]教科書に基づく1年間の指導の達成目標とCAN-DOリスト」『英語教育』第61巻、第11号、査読無し、大修館書店、2013、48-50
15. 久村研「授業で英語を多く使うために行動志向的アプローチのすすめ[11]CAN-DOリストの形で学習目標を各学校でどう作るか」『英語教育』第61巻、第12号、査読無し、大修館書店、2013、45-47

[学会発表](計27件)

1. 中山夏恵、清田洋一「J-POSTLを活用した異文化理解教育の実践」語学教育エクスポ、2016年3月6日、東京都・新宿区、早稲田大学
2. 高木亜希子「英語科教職課程履修生による省察 言語教師のポートフォリオを用いて」第45回中部地区英語教育学会、2015年6月28日、和歌山県・和歌山市、和歌山大学
3. 中山夏恵、栗原文子「グローバル時代の英語教育 異文化間コミュニケーション能力育成の意義と課題」大学英語教育学会関東支部第9回大会、2015年7月12日、東京都・渋谷区、青山学院大学
4. 清田洋一「英語教師のオートノミーを高める授業力ポートフォリオの活用」全国英語教育学会全国大会、2015年8月22日、熊本県・熊本市、熊本学園大学
5. 久村研、小出文則「生徒の発信力を高めるために英語で授業への授業改善につながる『言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)』を利用した教員研修」全国英語教育学会全国大会、2015年8月22日、熊本県・熊本市、熊本学園大学
6. 清田洋一、木内美穂「自律的な学習の継続を支援する言語学習ポートフォリオの取り組み」全国英語教育学会全国大会、2015年8月23日、熊本県・熊本市、熊本学園大学
7. 浅見道明、山口高領「英語で授業を展開する授業力の枠組みを求めて『言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)』を中心に」全国英語教育学会全国大会、2015年8月23日、熊本県・熊本市、熊本学園大学
8. 中山夏恵、栗原文子「Key Concept for Intercultural Development and their Treatment in Junior High School Textbooks in Japan」全国英語教育学会全国大会、2015年8月03日、鹿児島県・鹿児島市、鹿児島大学
9. 山口高領、堀晋也「Exploring Influences of Self-efficacy in English Learning upon Autonomous Learning Skills of Basic Psychological Needs for the Second Foreign Language」全国英語教育学会全国大会、2015年8月03日、鹿児島県・鹿児島市、鹿児島大学
10. 酒井志延、安達理恵「Which will be more necessary for Japanese university students, English proficiency or intercultural communicative competence? From a case study at a Japanese technological university」BAAL(British Association for Applied Linguistics) 2015 Conference, Aston University, Birmingham, UK
11. 神保尚武、久村研、今村洋美「J-POSTL: A Reflection Tool for EFL Teacher Education in Japan」27<sup>th</sup> Annual JUSTEC (Japan-US Teacher Education Consortium) Conference, 16 Sept. 2015, The University of West Florida, Pensacola, USA
12. 酒井志延「A Study on Enhancing Students' Autonomy in Asian EFL areas」27<sup>th</sup> Annual JUSTEC (Japan-US Teacher Education Consortium) Conference, 16 Sept. 2015, The University of West Florida, Pensacola, USA
12. 高木亜希子「Encouraging Pre-service Teachers to use the Japanese Portfolio for Student Teachers of Languages for Reflection」CULI International Conference, 29-30 Oct. 2015, Pullman Bangkok King Power, Bangkok, Thailand
13. 神保尚武、久村研「英語教育が変わる『言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)とは何か』田辺応用言語学研究会(TALK)2014年4月19日、東京都・新宿区、早稲田大学
14. 高木亜希子、酒井志延「Developing and Implementing J-POSTL」JALT Framework & Language Portfolio SIG 2014年5月31日、愛知県・名古屋市、中京大学
15. 酒井志延「英語の教科化に向けての今後の課題 外国語活動の指導者への意識調査結果から読み取れること」小学校英語教育学会神奈川大会、2014年7月26日、神奈川県・横浜市、関東学院大学
16. 神保尚武、久村研、山口高領、Peter Broeder, Angela Scarino, Kathleen Heugh「Perspectives on Improving Teacher Training: Meeting Challenges and Creating Opportunities」11 Aug. 2014, AILA(国際応用言語学会) World Congress(世界大会) 2014, Brisbane Convention & Exhibition Centre, Brisbane, Queensland, Australia
17. 中山夏恵、栗原文子「An analysis of cultural descriptors in J-POSTL (Japanese Portfolio for Student

- Teachers of Languages)」14 Aug. 2014, AILA (国際応用言語学会) World Congress (世界大会) 2014, Brisbane Convention & Exhibition Centre, Brisbane, Queensland, Australia
18. 浅見道明、山口高領「英語で行われる英語授業に対する高等学校生徒の意識調査」関東甲信越英語教育学会第38回千葉研究大会、2014年8月24日、千葉県・千葉市、明海大学
  19. 酒井志延「A Study on Enhancing Students' Autonomy in Asian EFL Areas」28 Aug. 2014, The 12<sup>th</sup> International Asia TEFL Conference, Borneo Convention Centre, Kuching, Sarawak, Malaysia
  20. 神保尚武、久村研、他「Symposium for AILA East Asia: "Pre-service Teacher Education"」26 Oct. 2014, 中国・南京市、南京大学
  21. 神保尚武「言語習得の観点から見た児童英語教育」日本児童英語教育学会、2013年6月29日、大阪府・大阪市、大阪商業大学
  22. 久村研、栗原文子「英語教師の異文化授業力の実態と課題」全国英語教育学会、2013年8月10-11日、北海道府・札幌市、北星学園大学
  23. 酒井志延、清田洋一「学習自立を育てる指導力」全国英語教育学会、2013年8月10-11日、北海道府・札幌市、北星学園大学
  24. 中山夏恵、栗原文子「英語教員に求められる異文化授業力に関する一考察 J-POTL 調査の結果を中心に」関東甲信越英語教育学会、2013年8月17-18日、長野県・松本市、松本歯科大学
  25. 山口高領、久村研、酒井志延「英語授業力のめやすの開発 2012年度実施の全国調査から示唆されるもの」関東甲信越英語教育学会、2013年8月17-18日、長野県・松本市、松本歯科大学
  26. 久村研「成長する英語教師の育成を目指した実践書『英語科教育の基礎と実践』」大学英語教育学会国際大会、2013年8月31-9月2日、京都府・京都市、京都大学
  27. 高木亜希子「How should we use the Japanese Portfolio for Student Teachers of Languages?: Suggestions from the second annual survey」大学英語教育学会国際大会、2013年8月31-9月2日、京都府・京都市、京都大学

〔図書〕(計8件)

1. 神保尚武、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.3 No.1(日本語版)』、2016、196
2. 神保尚武、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.2 No.1(日本語版)』、2015、124

3. 神保尚武、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.2 No.2(英語版)』、2015、151
4. 神保尚武、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.1 No.1(日本語版)』、2014、72
5. 神保尚武、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.1 No.2(英語版)』、2014、100
6. 神保尚武、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師のポートフォリオ英語教師教育全編』、2014、86
7. 神保尚武、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師のポートフォリオ現職英語教師編』、2014、64
8. 神保尚武、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師のポートフォリオ英語教職課程編』、2014、58

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：  
 発明者：  
 権利者：  
 種類：  
 番号：  
 出願年月日：  
 国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：  
 発明者：  
 権利者：  
 種類：  
 番号：  
 取得年月日：  
 国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等  
<http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

神保尚武(JIMBO, Hisatake)  
 早稲田大学商学大学院名誉教授  
 研究者番号：60063781

(2) 研究分担者

久村 研(HISAMURA, Ken)  
 田園調布学園大学こども未来学部名誉教授  
 研究者番号：30300007

酒井志延(SAKAI, Shien)  
 千葉商科大学商経学部教授  
 研究者番号：30289780

(3)連携研究者

清田洋一(KIYOTA, Yoichi)  
明星大学教育学部教授  
研究者番号：6013843

高木亜希子(TAKAGI, Akiko)  
青山学院大学教育人間科学部准教授  
研究者番号：50343629

栗原文子(KURIHARA, Fumiko)  
中央大学商学部教授  
研究者番号：60318920

中山夏恵(NAKAYAMA, Natsue)  
文教大学教育学部准教授  
研究者番号：50406087

山口高領(YAMAGUCHI, Takane)  
早稲田大学社会科学総合学術院講師  
研究者番号：60386555

堀 晋也(HORI, Shinya)  
早稲田大学教育・総合科学学術院助手  
研究者番号：00737546

石田雅近(ISHIDA, Masachika)  
清泉女子大学文学部名誉教授  
研究者番号：70146942

ヨッフエ・レオニード(YOFFE, Leonid)  
早稲田大学商学学術院准教授  
研究者番号：80434625